

Economic Indicators

発表日: 2022年12月23日(金)

主要経済指標予定(2022年12月26日~12月30日)

(株)第一生命経済研究所 経済調査部
日本経済短期チーム(Tel: 03-5221-4525)

(12月26日~12月30日の主なイベント、指標予定)

| | 指標名 | 当社予測 | 市場予測 | 市場予測レンジ | 前回結果 |
|------------|---|-----------------|-----------------|------------------------------|-----------------|
| 12月26日 (月) | 8:50 11月企業向けサービス価格指数 (前年比) | +1.6% | +1.7% | +1.6%~+1.9% | +1.8% |
| 12月27日 (火) | 8:30 11月労働力調査 完全失業 | 2.5% | 2.5% | 2.5%~2.6% | 2.6% |
| | 8:30 11月一般職業紹介状況 有効求人倍率 | 1.36倍 | 1.36倍 | 1.35倍~1.37倍 | 1.35倍 |
| | 8:50 11月商業動態統計・速報 小売業販売額(前年比) | +4.2% | +3.9% | +2.9%~+5.1% | +4.4% |
| | 14:00 11月住宅着工統計 新設住宅着工戸数(前年比) (季調値年率) | +0.8% 85.7万戸 | +1.3% 86.0万戸 | ▲2.6%~+3.5% 84.8万戸~87.0万戸 | ▲1.8% 87.1万戸 |
| 12月28日 (水) | 8:50 11月鉱工業指数・速報 生産(前月比) (前年比) | ▲0.6% ▲1.8% | ▲0.3% ▲1.5% | ▲3.0%~+1.7% ▲2.1%~+2.6% | ▲3.2% +3.0% |
| | 14:00 10月サービス産業動向調査 売上高(前年比) | — | — | — | +8.1% |
| | 8:50 日銀金融政策決定会合「主な意見」 (12月19・20日分) | | | | |
| 12月29日 (木) | | | | | |
| 12月30日 (金) | | | | | |

11月完全失業率／有効求人倍率 当社予想：2.5％／1.36倍 中央値：2.5％／1.36倍

失業率、有効求人倍率とも前月から若干改善すると予想する。水際対策の緩和により外国人観光客が増加しつつあることに加え、全国旅行支援の開始により国内旅行も増加している。宿泊業等の関連業種では人手不足感が強まっており、採用の増加が予想される。

(シニアエグゼクティブエコノミスト：新家 義貴)

11月小売業販売額 当社予想：前年比+4.2% 中央値：同 +3.9%

新型コロナウイルスの感染者数は拡大したものの、消費下押し度合いは限定的なものにとどまったとみられる。11月の個人消費も緩やかな増加が続いた可能性が高い。

(シニアエグゼクティブエコノミスト：新家 義貴)

11月鉱工業生産指数 当社予想：前月比▲0.6% 中央値：同 ▲0.3%

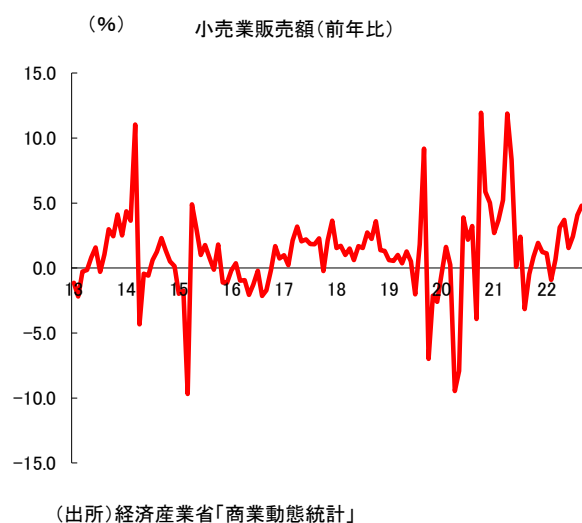
11月の鉱工業生産は、前月比▲0.6%と3カ月連続の低下を予想する。輸送機械が前月から反動減となるほか、需要減少により明確な落ち込みが続く電子・デバイスが足を引っ張るだろう。10-12月期は2四半期ぶりのマイナスとなる可能性が高く、7-9月期からの反動減に加え、海外経済悪化への懸念から慎重な動きが続いているとみられる。先行きについては、海外経済の減速に伴って輸出は減少に向かう可能性が高く、鉱工業生産も下振れる可能性が高い。

(副主任エコノミスト：大柴 千智)

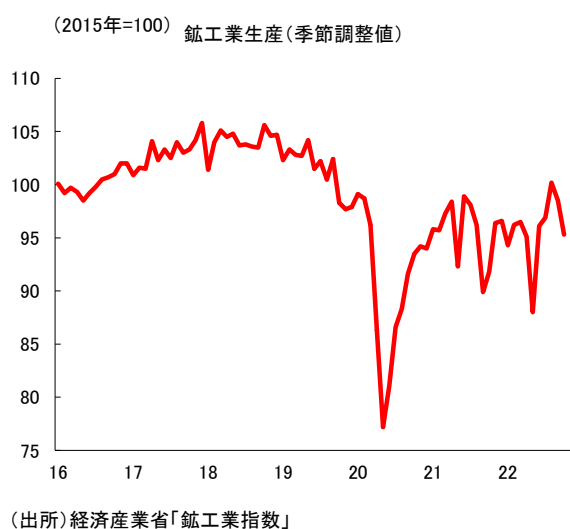
図表1



図表2



図表3



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。